

令和4年度（2022年度）

みんなの川の環境調査
－川の生き物と水質を調べてみよう－

報告書

令和5年（2023年）2月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れの原因となる工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対して関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。中でも底生動物調査は、河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「Ⅰ：快適な水環境」、「Ⅱ：親しめる水環境」、「Ⅲ：不快を感じない水環境」、「Ⅳ：多少不快な水環境」及び「Ⅴ：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」を用いています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必要であり、また、自身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺で繁殖する場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わった総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こうしたことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

最後に、本書をとりまとめるにあたり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導に協力いただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和5年（2023年）2月
熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

I. 調査の目的、方法、結果の概要 -----	1
II. 各団体の調査結果 -----	7

I 調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「底生動物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境について関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表I-1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等19団体がのべ32地点で調査を実施し、のべ936人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が8団体、学校関係が11団体でした。

また、調査場所32地点の内訳からは、緑川水系（10地点）や坪井川水系（6地点）、菊池川水系（3地点）、球磨川水系（3地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

指標生物及び簡易水質調査結果（表I-2）

指標生物から見た水環境評価では、調査地点13地点中、13地点全てにおいて比較的良好な結果が得られました。

また、水質から見た水環境評価では、調査地点32地点中31地点（95%以上）において比較的良好な結果が得られました。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近寄りたいたと感じない

表 I - 2 令和4年度（2022年度）における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	生物&水質	人吉市立大畑小学校	小さで川	球磨川	人吉市	赤瀬橋下流	10	7月8日	I	I
2	2	生物&水質	人吉市立東間小学校	胸川	球磨川	人吉市	大手橋上流	52	10月21日	Ⅲ	I
3	3	生物&水質	託麻西小学校9町内子ども会	蒸器堀川	緑川	熊本市	熊本市東区長嶺西こまどり保育園前	12	7月27日	Ⅲ	I
4	4	生物&水質	上天草市立教良木小学校 天草広域本部維持管理課	教良木川	教良木川	上天草市	熊本県上天草市松島町 教良木2845-1	30	6月27日	I	Ⅲ
5			天草市立栢本小学校 天草広域本部維持管理課	河内川	河内川	天草市	熊本県天草市栢本町 湯船原458 地先	27	7月7日	Ⅱ	Ⅱ
6			天草市立楠浦小学校 天草広域本部維持管理課	方原川	方原川	天草市	熊本県天草市楠浦町 3513 地先	27	9月30日	I	Ⅱ
7	5	水質	北甘木活動組織 北甘木親子会	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流右岸	58	11月6日	Ⅱ	-
8				天水川	緑川	嘉島町	天水川3号橋下右岸	58	11月6日	Ⅱ	-
9				-	-	嘉島町	千原ため池	58	11月6日	Ⅳ	-
10				-	-	嘉島町	北甘木地内 民家 (地下水)	58	11月6日	I	-
11	6	生物&水質	農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾	竜野川	緑川	甲佐町	甲佐町上早川	32	8月7日	Ⅱ	Ⅲ
12	7	水質	九州テクニカルメンテナンス株式会社	亀川	亀川	天草市	明亀橋付近	17	10月29日	I	-
13				亀川	亀川	天草市	福渡橋付近	17	10月29日	I	-
14				木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	11	8月28日	I	-
15				木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	13	8月28日	I	-
16				木山川	緑川	益城町	五楽橋付近	24	8月28日	I	-
17				坪井川	坪井川	熊本市	栄橋付近	3	9月10日	I	-
18				梶尾川	坪井川	熊本市	北部坪井橋付近	27	9月10日	I	-
19				坪井川	坪井川	熊本市	鶴羽田橋付近	24	9月10日	I	-
20				坪井川	坪井川	熊本市	平成大橋付近	15	9月10日	I	-
21				坪井川	坪井川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	15	9月10日	Ⅱ	-
22				井芹川	坪井川	熊本市	第1池上橋付近	15	9月10日	Ⅲ	-
23	8	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	浜戸川・小熊野川合流地点	28	9月23日	Ⅱ	Ⅲ
24	9	生物&水質	南関町立南関第二小学校	関川	関川	南関町	関川竜瀬橋	17	10月20日	Ⅱ	Ⅱ

表 I - 2 令和4年度（2022年度）における県内の団体の参加状況及び調査結果（続き）

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数 (のべ)	調査日	水質 評価	生物 評価
25	10	水質	大津町立大津北小学校 菊池管内環境活動協議会	矢腹川	菊池川	大津町	矢腹川公園	14	9月27日	I	-
26				平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くの リフレッシュ広場付近	14	9月27日	I	-
27				-	-	大津町	大津町平川地区 (地下水)	14	9月27日	I	-
28				通潤用水	緑川	大津町	円形分水工	14	9月27日	I	-
29	11	生物& 水質	菊池市立泗水東小学校 菊池管内環境活動協議会	日向川	菊池川	菊池市	菊池市泗水町永	47	10月4日	I	I
30	12	生物& 水質	御船町立御船小学校	御船川	緑川	御船町	御船橋付近	55	10月27日	I	I
31	13	生物& 水質	錦町立一武小学校	大谷川	球磨川	錦町	錦町一武	34	10月27日	Ⅲ	Ⅲ
32	14	生物& 水質	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校	湯出川	水俣川	水俣市	小崎公園付近	96	9月30日	I	I
環境団体等								8			
学校関係								11			
のべ調査地点								32			
のべ調査人数								936			

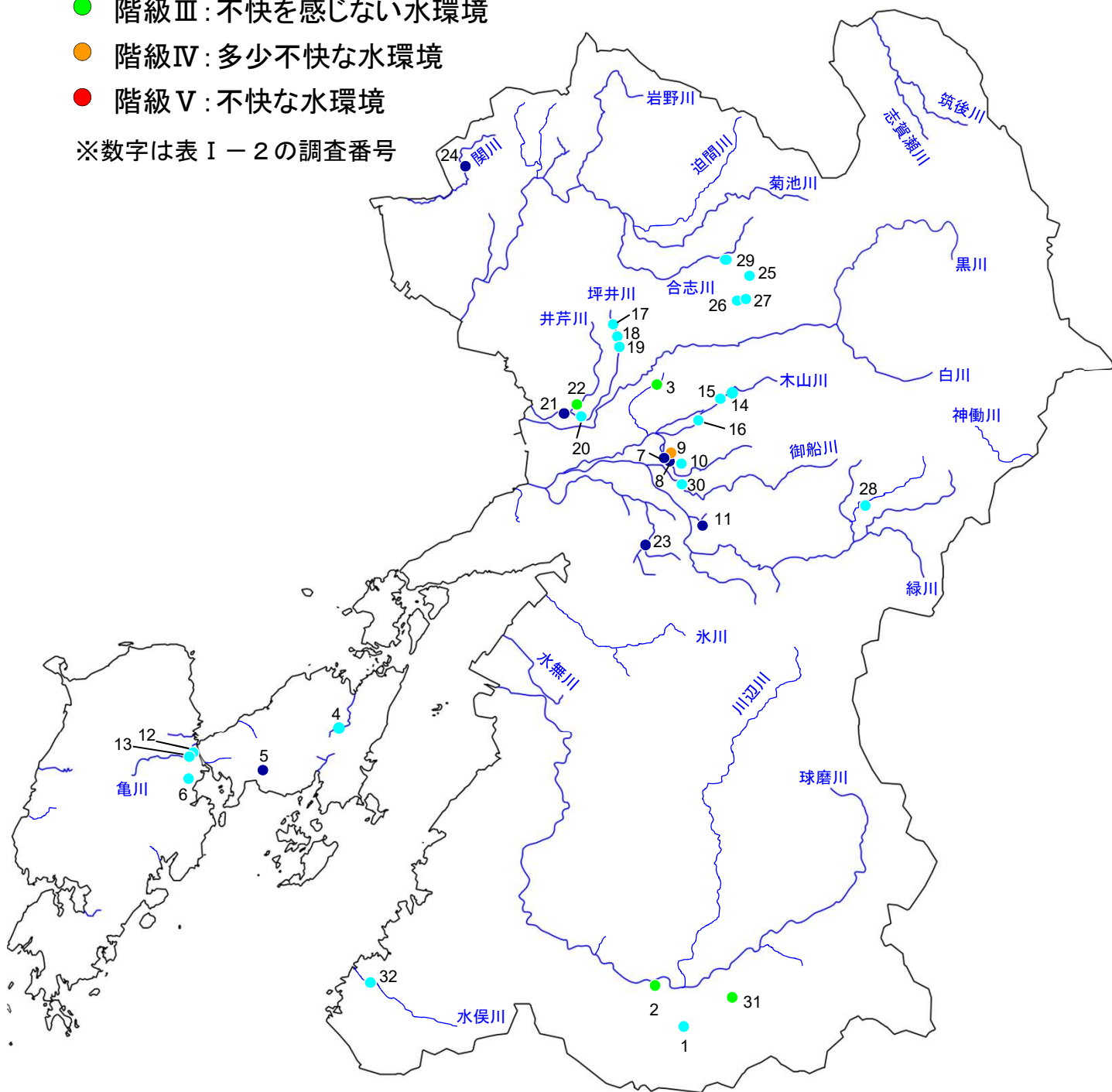
水系	合計
緑川	10
坪井川	6
菊池川	3
球磨川	3

調査結果	水質	生物
I	20	6
II	7	3
III	4	4
IV	1	0
V	0	0
合計	32	13

※ 表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

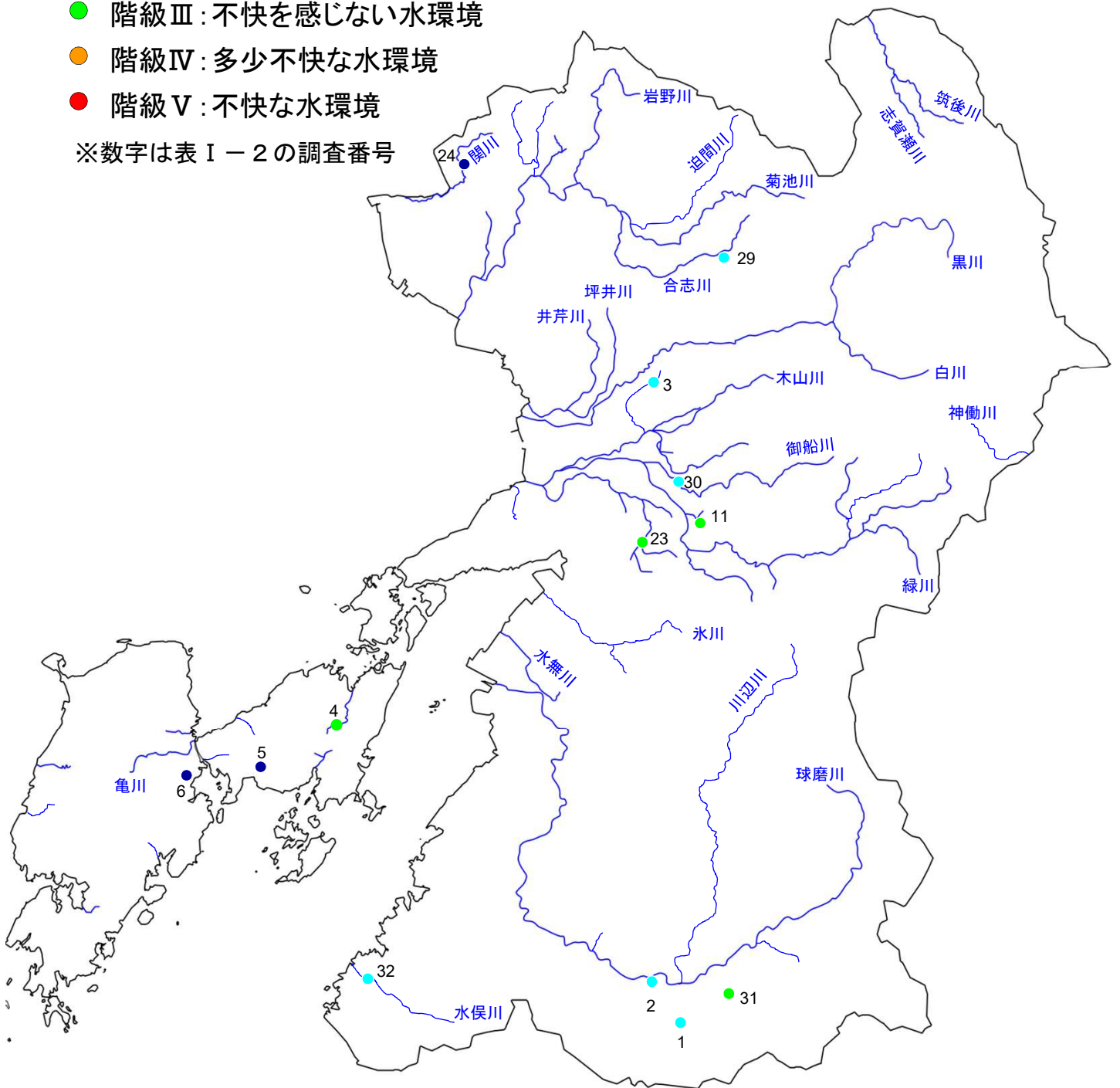
※数字は表Ⅰ－２の調査番号



図Ⅰ－１ 水質評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

※数字は表Ⅰ－２の調査番号



図Ⅰ－２ 指標生物評価結果マップ

Ⅱ 各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	小色で川 (水系 球磨川)		
調査地点名	赤瀬橋下流		
調査団体名	人吉市立大畑小学校		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年7月8日	調査時間	14:06
調査日天候	晴れ	気温	32°C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	23°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

水が透き通っていて、とても綺麗。触った感じもひんやりと冷たい。

調査した水生生物の他に、2~4cmくらいの大きさの小魚がたくさん泳いでいた。

川底には大きめの石が多くあり、苔などはほとんどついていなかった。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 1

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	●					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
	13. カワニナ			○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	14. ヒラタドROMシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)			○			
	18. 貝類						
多少不快な水環境(Ⅳ)	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	3	3	0	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)	2				
得点の集計	得点の合計	7	3	3	0	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	大手橋上流		
調査団体名	人吉市立東間小学校5年生		
代表者名	参加人数	52人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月21日	調査時間	13:45~14:20
調査日天候	晴れ	気温	29℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 2

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		●				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
	13. カワニナ			○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	14. ヒラタドROMシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
	18. 貝類						
多少不快な水環境(Ⅳ)	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	3	2	1	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の合計		6	4	2	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藻器堀川 (水系 緑川)		
調査地点名	熊本市東区長嶺西 こまどり保育園前		
調査団体名	託麻西小学校9町内子ども会		
代表者名	参加人数	12人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年7月27日	調査時間	8:00
調査日天候	快晴	気温	32℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	27.5℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2.2点 階級 III	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 3. ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 3

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ				○
14. ヒラタドROMシ						
15. コカゲロウ類					○	
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	0	2	0
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	3	0	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	教良木川 (教良木川水系)		
調査地点名	熊本県上天草市松島町教良木2845-1		
調査団体名	上天草市立教良木小学校、天草広域本部維持管理課		
代表者名	参加人数	30人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年6月27日	調査時間	9時35分～12時00分
調査日天候	晴れ	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 4

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	2	1
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	3	3	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	河内川 (河内川水系)		
調査地点名	熊本県天草市栖本町湯船原458 地先		
調査団体名	天草市立栖本小学校、天草広域本部維持管理課		
代表者名	参加人数	27人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年7月7日	調査時間	9時40分～12時00分
調査日天候	晴れ	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 5

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	2	1
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	3	2	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	方原川 (方原川水系)		
調査地点名	熊本県天草市楠浦町3513 地先		
調査団体名	天草市立楠浦小学校、天草広域本部維持管理課		
代表者名	参加人数	27人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月30日	調査時間	9時30分～12時00分
調査日天候	晴れ	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 6

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類						
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ						
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		●				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
	13. カワニナ			○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	14. ヒラタドROMシ			○			
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)			○			
	18. 貝類				○		
多少不快な水環境(Ⅳ)	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	3	1	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の合計		2	4	3	1	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		II					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢形川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	58人(子供31大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年11月6日	調査時間	AM 9:00~
調査日天候	晴れ	気温	18 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			①1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	②2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	②. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	12 °C		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	天水川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(天水川3号橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	58人(子供31大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年11月6日	調査時間	AM 9:00~
調査日天候	晴れ	気温	18 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			①1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	②2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	②. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	16 °C		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい (水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(千原ため池)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	58人(子供31大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年11月6日	調査時間	AM 9:00~
調査日天候	晴れ	気温	18 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	②. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	13 °C		
a. 水の色	1. 無色	②. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	③. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2.4 点 階級 IV			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい (水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(集落内民家の地下水)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	58人(子供31大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年11月6日	調査時間	AM 9:00~
調査日天候	晴れ	気温	18 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	13 °C		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	竜野川 (水系 緑川)		
調査地点名	甲佐町上早川		
調査団体名	農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾		
代表者名	参加人数	32人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年8月7日	調査時間	10:00
調査日天候	くもり	気温	28 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	25 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 11

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類						
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ						
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●					
	7. ヒラタカゲロウ類						
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
	13. カワニナ			○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	14. ヒラタドROMシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)			○			
	18. 貝類						
多少不快な水環境(Ⅳ)	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類					○	
	22. サカマキガイ						
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	4	1	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1				
得点の合計		3	1	4	1	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		Ⅲ					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 12

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月29日	調査時間	6:30
調査日天候	晴れ	気温	12.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	10.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらち 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② みどりいろ 緑色	3. しろはいろ 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ:

- 水質は、無色、無臭で透視度も良好でした。また、魚の生息が確認できました。



川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 13

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月29日	調査時間	7:00
調査日天候	晴れ	気温	13.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	10.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらち 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すな 砂泥	3. どろ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・ ゴミの散乱や汚れはほとんど見られず、川の水質は、無色、無臭で綺麗な水でした。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	11人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年8月28日	調査時間	9:10
調査日天候	晴	気温	27.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II	

2. 水質を調べる

水温	22.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬 2. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点 階級 I	

メモ:

- ・ ヒラタカゲロウの幼虫がいました。
- ・ 川底はしっかり見えていました。
- ・ 透視度100cm以上



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	三竹橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年8月28日	調査時間	9:15
調査日天候	晴	気温	28.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	21.2℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらち 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ しずいし 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② すなどろ 砂泥 3. どろ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちゃりよしよく 茶緑色 2. みどりいろ 緑色 3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II	

メモ:

- ・ 鯉がいました
- ・ 川底はしっかり見えていました。
- ・ 透視度100cm以上



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	五楽橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	24人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年8月28日	調査時間	9:55
調査日天候	晴	気温	29.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	25.0℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ しずいし 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② すなどろ 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやうしよく 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0点 階級 III	

メモ:

- ・ ハヤ、メダカ等の小魚が見られました。
- ・ 川底はしっかり見えていました。
- ・ 透視度100cm以上
- ・ 五楽橋周辺のゴミ拾いを行いました。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	3人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	8:40
調査日天候	晴	気温	28.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	23.2 °C	
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色	
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満	
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上	
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 ③ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 II	

メモ:

- ・ 川底まで確認する事ができた。
- ・ 人工のブロックが敷かれていた。
- ・ 魚等は見られなかった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	27人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	9:00
調査日天候	晴	気温	28.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	24.0 °C	
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色	
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満	
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上	
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② すなどろ 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ:

- ・ 川底まで確認する事ができた。
- ・ 川の水量は少なかった。
- ・ 水草が生えていた。
- ・ 川底には泥が溜まっていた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	24人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	9:00
調査日天候	晴	気温	28.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	23.0 °C	
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色	
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満	
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上	
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ しずいし 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② すなどろ 砂泥 3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちゃりよしよく 茶緑色 2. みどりいろ 緑色 3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ:

- 水量は少なく川底まで綺麗に見えた。砂泥が溜まっており、そこから草木が生えていた。
- 魚等は見られなかった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	9:15
調査日天候	晴	気温	26.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	25.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ早瀬	③ ひらせ平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ砂泥	3. どろふはい泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② みどりいろ緑色	3. しろはいくろしよく白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・ 川底は見えていた。
- ・ 側面に草や葉が生えている。
- ・ 魚が泳いでいた。
- ・ 鳥は見当たらなかった。
- ・ ゴミ等も無かった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	高橋稲荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	26.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	27.2 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② みどりいろ 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.4 点 階級 IV			

メモ:

- ・ 魚が泳いでいた。
- ・ 大きな鳥がいた。
- ・ カニがいた。
- ・ ペットボトル等のゴミがあった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月10日	調査時間	10:00
調査日天候	晴	気温	26.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	26.7 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.8 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ早瀬	③ ひらせ平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ砂泥	3. どろ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② みどりいろ緑色	3. しろはいろ黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・草が浮遊しており、濁っていた。
- ・魚が泳いでいた。
- ・トンボ、カモがいた。
- ・河川敷に花が咲いていた。
- ・人が捨てたようなゴミがあった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川合流地点 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町山崎 浜戸川・小熊野川合流地点		
調査団体名	豊野町みどりの少年団		
代表者名	参加人数	28 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月23日(金)	調査時間	午後2時00分
調査日天候	くもり	気温	27 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

エビ カエル ハエ

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 23

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	0	2	3	2
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	0	3	3	2	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	関川 (関川水系)		
調査地点名	関川竜瀬橋		
調査団体名	南関町立南関第二小学校		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月20日	調査時間	10:30~12:20
調査日天候	快晴	気温	20℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 24

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	1	2
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	3	4	2	3	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	大津町立大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月27日	調査時間	10:30
調査日天候	晴	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	大津町立大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月27日	調査時間	10:30
調査日天候	晴	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.4 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名 前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水) (水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	大津町立大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月27日	調査時間	10:30
調査日天候	晴	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

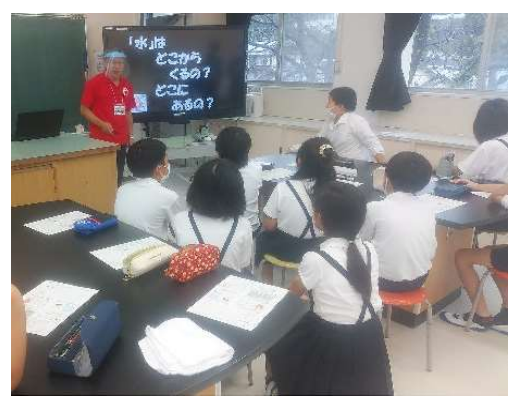
水温	15℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名 <small>ちようさ かせん めい</small>	通潤用水 <small>すいけい みどりかわ</small> (水系 緑川)		
調査地点名 <small>ちようさ ちてん めい</small>	円形分水工		
調査団体名 <small>ちようさ だんたい めい</small>	大津町立大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名 <small>だいひょうしゃ めい</small>	参加人数	14人	
連絡先住所 <small>れんらく せんしよ</small>			
調査年月日	令和4年9月27日	調査時間	10:30
調査日天候	晴	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形 <small>けい</small>	1. 渓流域 <small>けいりゅういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゅういき</small>	3. 平地流域 <small>へいちりゅういき</small>
B. 川の背景 <small>けい</small>	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 1.0$ 点 階級 I			

2. 水質を調べる

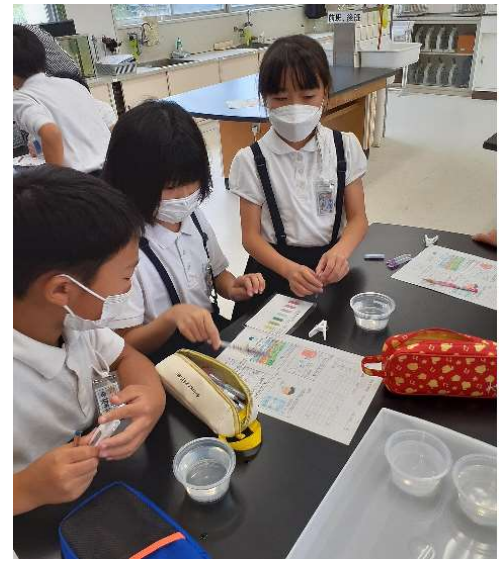
水温	15℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.0$ 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 菊池川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	47 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月4日	調査時間	9時00分～11時30分
調査日天候	晴	気温	29 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	15 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

昨年と違いサワガニが少なくエビ類が異常発生していた。水生生物の種類も少なく川の状態が変化しているように感じた。毎年お世話になっている民家の人に尋ねると、畜産農家からし尿らしきものが流れ出ているようです。でも、今年の春はホタルが例年より多くみられたとのことでした。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 29

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類						
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ						
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●					
	7. ヒラタカゲロウ類						
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
	13. カワニナ			○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	14. ヒラタドROMシ						
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
	18. 貝類				○		
多少不快な水環境(Ⅳ)	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ					○	
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	1	2	2
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1				
得点の集計	得点の合計	2	1	1	2	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	御船川 (水系 緑川水系)		
調査地点名	御船橋付近		
調査団体名	御船町立御船小学校4年生		
代表者名	参加人数	55 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月27日	調査時間	午前9時
調査日天候	曇り	気温	18 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	14.2 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

水は比較的透明できれい。小さな魚がたくさん泳いでいた。釣りをしている人もみられる。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 30

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	4	2	0
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	7	4	2	0	2
底生動物による川の水環境評価の判定		I 快適な水環境				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	大谷川 (水系 球磨川)		
調査地点名	錦町一武		
調査団体名	錦町立一武小学校		
代表者名	参加人数	34人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年10月27日	調査時間	10:00
調査日天候	曇り	気温	15℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	12℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 31

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ			○	
14. ヒラタドROMシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)				○		
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	1	2	1
最も多い種の数(●)						
得点の合計		3	1	2	1	3
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	湯出川 (水系 水俣川)		
調査地点名	小崎公園付近		
調査団体名	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校5年生		
代表者名	参加人数	96 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和4年9月30日	調査時間	14:00
調査日天候	晴れ	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬		
f. 石の状態	① ういし 浮き石	3. しずいし 沈み石		
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん	
h. 堆積物の種類	① なし	2. すなどろ 砂泥	3. どろ ふばい 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① ちやりよく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない		2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点 階級 II				

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 32

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境(Ⅴ)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	3	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	6	2	3	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

熊本県環境生活部環境局環境保全課
〒862-8570
熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号
電話 096-333-2271
E-mail: kankyouhozen@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_583.html

発 行 者：熊本県 所 属：環境保全課 発行年度：令和 4 年度 (2022 年度)

～ 本書は再生紙を使用しています～